

宇治市第3次ごみ処理基本計画(素案)に関するパブリックコメントの意見概要及び市の考え方について

1. 意見募集期間 平成30年10月12日(金)～11月13日(火)まで

2. 意見提出者数 96人(個人:92人、町内会等団体代表:4人)

	人数
①持参	13人
②郵便	13人
③ファクシミリ	61人
④電子メール	9人

3. 意見数 156人(のべ275人)

項目	人数	(のべ人数)
①有料ごみ袋制の導入について	89人	189人
	意見表明	2人
	導入賛成	7人
	導入反対	85人
②古紙回収事業の推進	50人	61人
	意見表明	8人
	見直し反対	42人
③行動計画	15人	23人
	意見表明	15人
④その他	2人	2人
・ごみ減量目標に関する意見表明	1人	1人
・ふれあい収集の拡大に関する意見表明	1人	1人
・お茶と宇治のまち歴史公園に反対	—	—

1. 有料ごみ袋制の導入について

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
1	○税金の二重取りだ。 ○税金の範囲でやるべき。(27人)	有料ごみ袋制を導入した自治体の事例では、ごみ処理にかかる費用の一部を、その量に応じて手数料として徴収するという考え方で実施されています。 導入する場合には、その考え方についても検討したいと考えております。	記述追加 →市民負担への配慮
2	○有料袋になると、市民負担が増大するので反対。(26人)	環境負荷の低減や埋め立て処分地の延命のため、さらなるごみ減量を目指す必要があると考えており、そのためにも有料ごみ袋制の検討は必要と考えております。 また、導入する場合には、市民負担の軽減策や財源の活用方法等について、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考にするなど十分に検討する必要があると考えております。	記述追加 →市民負担への配慮
3	○導入してもごみ減量にならない。(17人)	有料ごみ袋制を導入した多くの自治体では、ごみの減量化を達成しており、ごみの有料化は、ごみの減量を実現するための有効な一般的な手段の一つと考えております。	-
4	○今でも市民は分別に取り組んでいて、出来るだけごみの減量に協力しています。(16人)	さらなるごみの減量化を進めるため、有料ごみ袋制も含め、様々なことについて検討する必要があると考えております。	-
5	○不法投棄が増える原因になる。(14人)	ごみの減量化と合わせて、パトロール等、不法投棄対策への取り組みを継続し、さらなる効果的な取り組みが講じられるよう検討いたします。	記述あり→不法投棄対策
6	○有料袋の導入は納得できない。 ○根拠が分からない。(12人)	ごみの有料化は、ごみの減量を実現するための有効な一般的な手段の一つと考えております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	-
7	○ごみの減量は、市民への啓蒙で進めるべきです。(11人)	ごみの減量は、市民一人一人のご協力で成り立っております。 市としましては、今後も継続して広報誌やホームページ等で周知してまいります。さらなるごみ減量のための方策の一つとして、有料ごみ袋制について検討したいと考えております。	(類似) 行政の市民・事業者への啓発を詳述
8	○低所得者ほど生活費に占める負担が大きくなる。 (11人)	有料ごみ袋制を検討する際は、市民負担の軽減策や財源の活用方法等について、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考にするなど十分に検討する必要があると考えております。	記述追加 →市民負担への配慮
9	○導入されれば、今ごみ袋として使っているレジ袋等が大量のごみとなり、ごみ減量化には逆効果だ。(9人)	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、レジ袋について、買い物時のマイバック持参も検討していただきますようお願いいたします。	-

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
10	○現状の指定袋制でゴミ減量は進んでいる。(7人)	本市において指定ゴミ袋(透明・白色半透明)製の導入により、家庭ゴミ(もえるゴミ・もえないゴミ)が一人一日当たり5~6%程度減少しました。 さらなるゴミの減量化を進めるための方策として、有料ゴミ袋制について検討したいと考えております。	-
11	○有料袋が一杯にならないと勿体ないので、何日も溜めようとするので、不衛生になる。 ○ゴミが少なくなり45リットルの袋では大きすぎる。(6人)	有料ゴミ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要がありますと考えております。 今後導入する場合は、有料ゴミ袋制を導入した自治体の事例を参考にするなど、様々な角度からの検討が必要と考えております。	-
12	○有料化は、市に対する市民の信頼感を一層失わせる恐れがある。 ○有料化は、これまで進めてきた分別や減量化推進に逆行する。 ○有料化は、目指すゴミ施策と矛盾する面が出てくる。 ○有料化は、市民本位の行政とは言えない。(5人)	有料ゴミ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要がありますと考えております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	-
13	○導入理由の「厳しい財政状況の中、引き続きゴミ減量に資する事業等を展開する新たな財源確保」としていることに納得できない。(4人)	人口減少・少子高齢社会の進展が見込まれる中、財源確保が大きな課題となっております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	-
14	○家庭から出るプラマークゴミはほとんど商品の梱包。商品の過剰包装を止めることが、有料化より遥かにゴミ減量に有効。(3人)	現在も簡易包装への取り組みについて、市民と事業者の方々に協力をいただいております。 今後も、包装の自粛や抑制に取り組んでいただくよう、周知を進めて参ります。	(類似) ゴミの抑制の取組として詳述化
16	○公共料金を値上げしたばかりではないか。(2人)	人口減少・少子高齢社会の進展が見込まれる中、財源確保が大きな課題となっております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	-
17	○ゴミ減量を促進する方策になります。(2人)	有料ゴミ袋制を導入した多くの自治体では、ゴミの減量化を達成しており、有料ゴミ袋制は、ゴミの減量を実現するための有効な一般的な手段の一つと考えております。	-
18	○市民が「税金を払っているのだから沢山捨てて元をとろう」と考えても不思議ではなく、埋立地がいくつあっても足りない。 ○ゴミが減れば埋立地の延命になり、歳出の節約になる。(2人)	ゴミの減量が進めば、ゴミ処理費用の削減や埋立地の延命につながると考えております。	記述追加 →埋立地延命
15	○市民に対して十分な話し合いの場を設けること。(1人)	有料ゴミ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要がありますと考えております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	-
19	○有料袋になるのであれば、一回出した袋を使いまわすので返却してほしい。(1人)	有料袋であっても無料袋であっても、ゴミの一度入った袋の返却は、効率的な収集作業を進めるうえで大変困難であり、また衛生面・安全面の観点からも返却のご要望には応じかねます。	-

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
20	○指定袋（透明・白色半透明）もおかしい。袋が何であれ、出す人のモラルの問題だ。（1人）	本市において指定ごみ袋（透明・白色半透明）制を導入した結果、家庭ごみ（もえるごみ・もえないごみ）が一人一日当たり5～6%程度減少しました。 また、指定袋は、ごみ排出意識の向上にも効果があると考えております。	-
21	○有料化よりも、リユース・リサイクル等や分別をさらに進めて資源化に力を入れた方がよろしいかと思えます。（1人）	さらなる減量のための方策の一つとして、有料ごみ袋制について検討したいと考えております。 また、リユースやリサイクル、さらなる資源化の促進等が進められるよう、啓発や情報提供、支援等について検討します。	(類似) 市民・事業者の3Rの取組を明確化
22	○市販のごみ袋より安くできるのか。（1人）	有料ごみ袋制を検討する際は、市民負担の軽減策や財源の活用方法等について、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考にするなど十分に検討する必要があると考えております。	-
23	○有料袋の売上金をどう使うか。その計画が全くでていない。（1人）	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、導入する場合の財源活用は、ごみ減量の取り組みや環境負荷低減に資する事業への充当等も含め、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考に検討したいと考えております。	-
24	○有料袋で導入自治体が儲かる現象にあると聞く。本末転倒である。（1人）	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、導入する場合の財源活用は、ごみ減量の取り組みや環境負荷低減に資する事業への充当等も含め、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考に検討したいと考えております。	-
25	○有料袋は止めてください。プラスチックごみの生態系への影響が問題になっている時に、意欲低下になることは、もっての外。（1人）	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、近年プラスチックごみによる生態系への影響が指摘されており、行政としても啓発・仕組みづくりに努めたいと考えております。	-
26	○売り手と買い手が少しずつ工夫して、ごみを減らしたらと思えます。（1人）	ごみの減量化を進めるにあたっては、市民と事業者の協力が必要不可欠です。 現在も様々な取り組みに協力をいただいておりますが、今後もごみの抑制について、積極的に取り組んでいただくよう、啓発を行って参ります。	(類似) 市民・事業者・行政の行動計画を詳述
27	○有料化は、環境問題に対する理解を妨げ、金を払うからと分別が曖昧になると思えます。ごみ問題は地球環境を守る、命に係わる課題です。そのために大事な税金を使ってください。（1人）	有料ごみ袋制が今後導入するようになった場合でも、分別がきちんとされていないごみは収集しないことになると考えております。 また、導入する場合の財源活用は、ごみ減量の取り組みや環境負荷低減に資する事業への充当等も含め、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考に検討したいと考えております。	-

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
28	○年金生活者にとって負担が大きい。(1人)	有料ごみ袋制を検討する際は、市民負担の軽減策や財源の活用方法等について、有料ごみ袋制を導入した自治体の事例を参考にするなど十分に検討する必要があると考えております。	記述追加 →市民負担への配慮
29	○市の財源が不足で有料化を検討するならば、税金の使い方の説明をすべき。(1人)	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、導入する場合には、市民の皆様へ説明会等を実施して理解を得なければならないと考えております。	—
30	○有料化は、企業による資源の無駄遣いを抑制する効果につながる。(1人)	ごみ減量の取り組みや環境負荷低減の効果は、ご指摘の点も含めて、様々な効果が想定されます。市民・事業者・行政の協働によって、進めて参りたいと考えております。	(類似) 事業者の行動計画を詳述
31	○有料化によって、市の財源を得ることによって、国や府の補助金をもらわずにすみ、地方分権の面で利点がある。(1人)	有料ごみ袋制を検討する際は、様々な方法について十分に検討する必要があると考えております。 また、導入する場合の財源活用は、市の自主財源となりますので、基本的には市の裁量で活用ができると考えております。	—
32	○導入にあたっては、不法投棄対策をもう少し具体的にすべきだ。(1人)	ごみの減量化と合わせて、パトロール等、不法投棄対策への取り組みを継続し、さらなる効果的な取り組みが講じられるよう検討いたします。	記述あり→不法投棄対策(詳述化)

2. 古紙回収事業の推進

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
33	○報償金は、町内会等にとっては貴重な財源です。減額、廃止は町内会活動等へ大きく影響する。(36人)	様々な地域活動を担っている自治会等の地域団体が、報奨金を貴重な財源としていることは、理解しております。 一方で制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	記述追加：地域活動へ影響を及ぼすことを懸念。
34	○集団回収事業を推進するとしながら、報償金の削減は納得できない。(7人)	古紙の集団回収事業は、ごみの減量化に大きく役立っており、今後もごみ減量施策の一つとして推進いたします。 一方で制度導入当時と異なり、古紙相場は一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	記述追加：地域活動へ影響を及ぼすことを懸念。
35	○古紙回収事業がごみ減量化と資源の再利用のために果たしている役割は非常に大きい。(2人)	古紙の集団回収事業は、ごみの減量化に大きく役立っており、今後もごみ減量施策の一つとして推進いたします。 一方で制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	(類似)古紙回収事業全般の記述変更

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
36	○報償金の廃止ではなく、逆に市が積極的に古紙を資源ごみとして有効利用に取り組むというような見直しをすべき。(2人)	制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	(類似)古紙回収事業全般の記述変更
37	○市民に税金の使い方の説明が必要。 ○見直しの検討とされているが、問題提起として説明不足。(2人)	制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。 また、制度を変更する場合には、市民の皆様にご理解が得られるよう説明させていただきます。	記述変更：古紙回収事業全般
38	○次世代を担う子供達の活動資金の一部等が奪われるのが心配。 ○報償費で小学校の図書館の本購入等、子供たちに還元できている。子供たちに沢山の本をとの思いで協力している。(2人)	様々な地域活動を担っている自治会等の地域団体が、報奨金を貴重な財源としていることは、理解しております。 一方で制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	記述変更：古紙回収事業全般
39	○素案の文章は、前半と後半が矛盾しており、日本語としての意味をなさない。提案としては無意味であり、撤回されるべきである。(1人)	制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。 また、制度を変更する場合には、関係団体にご理解が得られるよう説明させていただきます。	記述変更：古紙回収事業全般
40	○古紙回収事業は、町内会にとって大変有意義なものだと思います。古紙が家庭から出されることにより、地域に還元されるのは好ましいことです。これからも続けていただきたいです。(1人)	古紙の集団回収事業は、ごみの減量化に大きく役立っており、今後もごみ減量施策の一つとして推進いたします。 一方で制度導入当時と異なり、古紙相場が一定の水準で推移していること、市の財政が厳しい状況があります。このような状況を総合的に勘案して、見直しについて検討します。	(類似)古紙回収事業全般の記述変更

3. 行動計画

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
41	○市民への啓発活動に力をいれる。(9人)	市民の皆さまがごみ減量や環境負荷の低減につながる取り組みを実践していただくため、行政はあらゆる啓発を実施する必要があると考えております。 市政だよりやホームページをはじめとした広報・啓発を進めていくとともに、子供を対象にした環境教育や、出前講座を充実いたします。	記述変更：行政の市民・事業者への広報・支援の詳述
42	○生ごみをバイオエタノール、枯葉や草を堆肥化する等で資源化を進める。(3人)	適正処理や減量化の促進のために効果が高い、新たな分別収集品目を検討します。 また、事業系の生ごみのリサイクルができるよう検討します。	記述変更：新たな分別収集品目の検討
43	○商品の過剰包装について、もっと事業者へ厳しい指導をする。(2人)	行政としては、まず啓発及び情報提供を行って、市民の皆さまが過剰包装を選択できる、事業者の皆さまが簡易包装を勧めやすい仕組みづくりに努めたいと考えております。	(類似)ごみの抑制の取組として詳述化

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
44	○生ごみ処理機はごみの減量に効果があるのだから、購入にあたっての補助制度を再開し、より多くの家庭に普及させるべく効果を宣伝する。(2人)	生ごみ処理機の補助制度は平成11年度をピークに利用が減少し、平成28年度にピーク時の約1割、23件と大きく減少したこともあり、平成30年度に廃止いたしました。 普及、啓発は、一定達成できたと考えています。	—
45	○スーパー、コンビニ等でのレジ袋不要客にはポイントを付与する形にする。(1人)	ご提案の内容等、事業者に向けて、さらにごみ減量に向けた取り組みが進むよう啓発してまいります。	記述変更：行政の市民・事業者への広報・支援の詳述
46	○自治会等が主体で行う資源ごみ(新聞紙、雑紙、本類、缶、ビン、油等)回収に対しては、報償金を出す。(1人)	現在、新聞紙、雑誌、ダンボール、古布を対象にした報償金制度を実施しています。	—
47	○スーパーのごみ箱にパックや食品ごみが捨ててあり、不衛生です。行政の責任として住環境を整えてほしい。(1人)	スーパー等の店内における清掃は、その事業者の責任によるものと考えています。	—
48	○ごみの減量化と再資源化率の向上目標は大いに賛成です。(1人)	さらなるごみの減量化、再資源化に向けて、引き続き検討してまいります。	—
49	○ごみは、商店で買い物した時のレジ袋に入れて出しています。もったいない精神で、使える物を利用しています。(1人)	レジ袋の有効利用ありがとうございます。 また、レジ袋は、買い物時のマイバック持参も検討していただきますようお願いいたします。	記述あり：マイバックの利用
50	○観光客の立ち食いによるごみをよく見かける。その対策が必要である。(1人)	ごみ減量の取り組みとあわせて、担当部署と連携し対応したいと考えています。	—
51	○素案がごみ減量に繋がるとは考えにくい。(1人)	ごみ処理基本計画は、本市のごみ処理にかかる大きな方向性を示すものです。市民の皆様、事業者の皆様さま行政が協働して取り組むことで、ごみの減量化につながると考えています。	—

4. その他

No.	意見等の概要	ご意見に対する宇治市の考え方	答申への反映
52	○「8%」という目標の数値についての根拠がわからない。(1人)	8%は、前計画(第2次計画)の目標数値であり、スローガン(SAVE THE FUTUER, Challenge the "8")を引き継いだものであるとともに、今後さらなるごみの減量化を目指すための目標値として設定しました。	—
53	○ふれあい収集の回収の職員を増やしてほしい。これからの高齢化社会には必要な制度。(1人)	ふれあい収集は、ご利用の皆さんにたいへん好評を得ている制度と考えています。 引き続き市民ニーズに応えていけるよう努力いたします。	記述変更：ふれあい収集制度等の充実
-	○太閤堤跡歴史公園の出費を止めるべき(8人)。	本計画と直接関係がありませんので回答は差し控えさせていただきます。	—